

第21号



Pearlland Hospital

パール通信

医療法人 猪鹿倉会 パールランド病院



新春の池田湖にて。湖畔は年明けには菜の花が満開となり、薩摩富士と呼ばれる開聞岳を望みながら、ひと足早い春の訪れを感じます。

(撮影:リハビリテーション部職員)

通信のご案内



- ぱあるカフェ(認知症カフェ)再開しました!
- Dr.によるミニコラム:「アルツハイマー型認知症・新薬について」
- Nrs.によるミニコラム:「私たちにできること」
- パールランドの魅力とは?! ~私の「推し!」~
- 部署紹介(リハビリテーション部・臨床心理科)

ぱあるカフェ 再開しました!



当院では、認知症疾患医療センターの認知症普及啓発活動の一環として、主に出張形式ではあるカフェ(認知症カフェ)を開催しています。新型コロナウイルス感染症の影響でしばらくの間休止していましたが、2023年9月より再開しました。

今回は昨年開催したぱあるカフェの様子を少しご紹介いたします。

令和5年9月27日開催 出前カフェ in にいむら病院

にいむら病院に通院されている患者さん等を対象に開催しました。



【認知症ミニ講座】…公認心理師/臨床心理士
脳の働き、認知症の基礎知識や予防法、相談先等についてお話ししました



【運動教室】…理学療法士
体の動きにあわせて脳トレを行う、認知症予防にも効果的な運動に取り組んでもらいました

令和5年10月24日開催 出前カフェ in 向江町公民館(日置市伊集院町)

ふれあい・いきいきサロンに参加されている地域住民の方を対象に開催しました。



【認知症ミニ講座】…公認心理師/臨床心理士
認知症の基礎知識、気づきのポイント、対応、予防法、自動車運転等についてお話ししました



【健康体操】…作業療法士
「妙円寺詣りの歌」にあわせて、生活動作と関連づけた体操を行いました

ぱあるカフェ(出前カフェ)は、どなたでもご依頼いただけます。費用は**無料**です(飲み物も当院より持参)。地域の公民館やイベント会場等、ご希望の場所で開催しており、内容は上記以外にもご要望に応じて検討します。詳細は下記までお問い合わせください。

パールランド病院認知症疾患医療センター TEL:099-238-0168



Dr.による

ミニコラム

アルツハイマー型認知症・新薬について

パールランド病院医師 平原 徹志

人生100年時代を迎え、認知症がますます身近な問題になっています。

認知症には、幻視や歩行障害を伴う「**レビー小体型認知症**」、脳卒中などの病気によって発症する「**脳血管性認知症**」などさまざまな種類があります。その中には、脳脊髄液が脳を圧迫して起こる「**正常圧水頭症**」のように、治療すれば治る認知症も存在します。

ここでは、**アルツハイマー型認知症**の病態と薬についてお話します。

アルツハイマー型認知症は、老化に伴いアミロイドβと呼ばれるペプチドが脳に溜まるのが原因だと考えられています。アミロイドβは健康な人の脳の中にも存在しますが、脳の中で分解され、脳の中に溜まることはありません。しかし、老化などで、脳の中で老廃物を処理する能力が弱まると、溜まってきたアミロイドβお互いにくっつきあって次第に大きくなり、老人斑(アミロイド斑)と呼ばれる大きなかたまりを形成します。この老人斑が脳にたくさん溜まってくると、神経細胞が死んでしまい、脳が正常に働かなくなるために認知症を発症すると考えられています。

現在使われているアルツハイマー型認知症の薬には、患者さんの脳の中で弱った神経細胞の働きを補う薬(コリンエステラーゼ阻害薬)や、神経細胞が死んでしまうのを遅らせる薬(NMDA受容体阻害薬)があります。これらはいずれも、症状を一時的に和らげることを目的とする「**対症療法**」と呼ばれ、アルツハイマー型認知症の発症や進行を止めることはできません。

それに対して、新しく承認された**レカネマブ**は、アルツハイマー型認知症の原因と考えられる老人斑を脳から取り除くことを目的として開発された薬です。そのため、レカネマブは、アルツハイマー型認知症の原因に働きかけて進行を抑える(修飾する)薬ということで、「**疾患修飾薬**」と呼ばれています。これは、これまでにはなかった新しいタイプのアルツハイマー型認知症の薬です。

早期発見、早期治療でアルツハイマー型認知症が治せる時代の幕開けです。



Nrs.による

ミニコラム

私たちにできること

パールランド病院 1病棟3階病棟主任 松元 奈美

パールランド病院に入職して15年が経とうとしています。

専業主婦を16年。久しぶりの臨床は、大きく変化していました。人生の最後をここで迎える方がほとんどで、患者さんも家族の皆様もここで診てもらえてよかったと思ってもらえるように寄り添うことが、看護の中心なのだと思っていました。

6年ほど前でしょうか。Aさんが入院して来られました。癌の末期という状態で、麻薬テープを使用して疼痛コントロールはできていましたが、ほぼベッド上のみの生活で食欲はなく、イライラしている様子がありました。「家に帰ったら食べられる」と訴えられていましたが、入院生活に慣れてきたら大丈夫かなと思っていました。ある日、少しでも食欲が出るようにと、家族が持って来てくれたご飯のふりかけと一緒に選んでいた時、「家のご飯だったらもつと食べられるのに」とつぶやかれました。それを聞いて、何とか家に帰れないだろうかと主治医に相談し、家族と話し合いをしました。結果、娘さんが仕事を辞めて付き添う覚悟を決めて下さり、実現しました。退院の日、車の窓を開けて「本当にありがとうね」と、何度も頭を下げて手を振って帰って行かれました。あの時の笑顔と、思い切って相談してよかったという達成感、ずっと心に残っています。

日頃私たちは、患者さんの近くにいる、変化のないことを望む傾向にあると思います。しかし、時には患者さんの思い、家族の皆様のお思いを今の状態に合っているのかどうかを考えることを忘れてはいけないと思います。

貴重な年月をコロナ感染拡大により、制限されました。面会ホールで、患者さんと家族の皆様のお笑顔が溢れる日が早く来ることを願っています。



パールランドの魅力とは?!

～私の「推し!」～

開設35周年を迎えた当院には、勤続30年を超えるベテラン(開設当初からの方も!)から1年目のフレッシューズまで、実にさまざまな年代の職員がいます。年代だけでなく、経験値もそれぞれ、職種も医師、看護師、介護士、コメディカル等々、皆いろいろ…。今回は、そんな皆さんに改めて聞いてみました! 「パールランドで働くあなたの『イチ推し』とは?」

保育所

看護師Tさん
勤続7年目

2歳になる息子が11ヶ月の時から利用。
24時間保育で雰囲気もアットホーム、病院併設なので送迎も楽だし、何かあればすぐ駆けつけることもでき、安心して働けます。



24時間保育

新人教育制度 (看護部)

看護師Mさん：勤続3年目

コロナ禍で十分な実習が受けられないまま入職し、看護師としても社会人としても不安感だらけ…。そんな私を、新人教育係(プリセプター)のA先輩はいつも気にかけて、どんな些細なことでもちゃんと聞いて「大丈夫、大丈夫!」と励ましてくれました。マンツーマンの教育制度でしっかりとサポートして貰えたおかげで、安心して看護師としての第1歩を踏み出せました!



レストラン

総務Aさん
勤続24年目

私のイチ推しメニューは唐揚げ! サクサクの歯ざわりが抜群で、男性でも満足できるボリュームです。もちろん、他のメニューも全部美味しいですよ～。作って下さる明和食品のスタッフの方々の笑顔も推し! です。



唐揚げ定食

緑豊かな 環境

リハ部Kさん
勤続10年目

自然に囲まれた当院。キレイな空気を吸いながらの歩行訓練は、春は桜、秋は紅葉など、季節を直に感じ取ることができ、患者さんのリハビリ意欲も高めてくれます!



秋の紅葉風景

頼れる 人事課スタッフ

リハ部Tさん：勤続29年目

思いがけない母の病気、数年後には父も…。悩む私に親身に寄り添ってくれて、介護休暇のことなどの確なアドバイスをいただきました。そのおかげで仕事も続けることができました!



リハビリテーション部 臨床心理科

当院の臨床心理科には、公認心理師・臨床心理士の両資格を持った心理師が3名所属しています。内2名は認知症治療病棟を2病棟ずつ担当し、1名は認知症疾患医療センターを専任しており、外来・一般病棟は主治医の指示に応じて全員で対応しています。

私たちは、主に患者さんの心理検査（認知機能面・精神面）を担当し、その人その人に必要なアプローチや環境調整を行っています。また、当院職員に向けてのメンタルヘルス講習や認知症についての研修も行います。その他、認知症理解の啓発活動の一環として、地域に出向いて認知症講座や脳トレ体験などを実施しています（「ばあるカフェ再開」のページをご参照ください）。

検査・カウンセリング



医師の処方のもと、心理検査やカウンセリングを行います。

病棟ラウンド



病棟内の日常生活を通して声かけを行いながら、患者さん一人一人に適した援助と環境調整を他職種と協働し提供します。

グループ療法



RO法・回想法グループ

認知症の方を対象に、季節感あふれる話題や昔懐かしい事柄を通して、情動安定に働きかけます。

※RO…現実見当識強化訓練



頭の体操教室

脳活性化を目的として小集団や集団で実施しています。脳の機能や脳トレの効果を説明して患者さんのモチベーションを引き出しながら、楽しく取り組めるゲームを提供しています。

認知症疾患医療センター



当院では、認知症疾患医療センターとして、認知症の鑑別診断（専門外来）を行っており、心理師はさまざまな心理検査を実施しています。また、医師・看護師・精神保健福祉士とカンファレンスで情報の共有や検討を行い、その後の診察にも同席します。必要に応じて患者さんやご家族に、今後活かせるような日常生活での工夫や対応面の助言なども行っています。

病院概要

病院名称	医療法人 猪鹿倉会 パールランド病院
指定許可	鹿児島県指定 認知症疾患医療センター
開設	昭和63年3月1日
診療科目	内科 精神科 脳神経内科 リハビリテーション科 歯科 <ul style="list-style-type: none"> ● 臨床研修協力施設（厚生労働省発医政 第0331051号） ● 消化器がん検診精密検査医療機関証（第0085号） ● 日本認知症学会教育施設認定証（施設 第134号） ● 日本老年精神医学会専門医認定施設（認施 第200092号）
病床数	400床 精神病床300床（認知症専門病床200床） 医療療養病床100床
併設	レストラン 売店 保育所（職員専用24時間対応）
関連施設	指定居宅介護支援事業所 訪問看護ステーション



医療法人 猪鹿倉会

パールランド病院

<https://www.pearlland.or.jp>

〒891-1205 鹿児島市犬迫町 2253 番地

電話／099-238-0301 FAX／099-238-0117

認知症疾患医療センター

電話・FAX／099-238-0168

指定居宅介護支援事業所パールランド 電話／238-0301 FAX／238-0117
 訪問看護ステーションパールランド 電話／245-4555 FAX／245-4556